

足和田ホテル

●山梨県富士河口湖町

ばい煙の発生低減で、環境負荷低減と景観保護に貢献

【贈呈理由】 国立公園内の景観保護を重視し、エコキュート導入による重油使用量削減でコストも削減

活
か
す



足和田ホテル

富士箱根伊豆国立公園にある足和田ホテルは、美しい山々に囲まれた奥河口湖の目前に位置し、四季それぞれの美しい景観と豊かな自然を愉しむことができる。富士五湖周辺の観光施設へのアクセスが便利なので、1970年の創業以来多くの観光客が訪れている。

同ホテルでは自然豊かなこの地域にお客さまを気持ちよくお迎えしたいという思いから、ボイラ使用時に発生する排気ガスが環境に与える影響を懸念していた。またエネルギーコストの面で、冬期の燃料費の増大も問題となっていた。

2回にわたって、全館にヒートポンプ給湯システムを導入

これらの環境負荷低減と燃料費削減という課題を背景に、給湯設備の更新計画に着手、2008年から2回にわたりヒートポンプ給湯システムを導入した。このシステムはばい煙の発生がなく、CO₂排出量も削減するため環境への負荷を低減できる。また高効率であり、割安な夜間電力の利用が可能であるため、燃料費の削減にも貢献する。

08年にホテル東館へ業務用エコキュー

トをまず導入し、次いで11年には西館へ同システムを導入した。導入後は夜間蓄熱運転で大浴場、各客室の風呂、調理室(食器洗浄用)などの給湯をまかなっている。給湯負荷が増大する冬期に備え、更新したボイラで沸き増しすることもできる併用方式を採用している。その結果、ばい煙の発生を低減させ、CO₂排出量と燃料費を大幅に削減した。

さらなるエネルギーコスト低減に期待

足和田ホテルでは今回の給湯設備の更新により、環境負荷低減と燃料費削減という二大目標を達成することができ、以前よりも排気ガスを出さなくなったの



業務用エコキュート

で景観を損なうこともなくなった。今後、年間を通してエネルギーコストがさらに抑制されることに大きな期待を寄せている。

一次エネルギー消費量削減効果

今回採用 業務用エコキュート+重油ボイラ

従来方式 重油ボイラ



(諸元) エネルギー使用実績比較
一次エネルギー原単位
電気(全日): 9.76MJ/kWh(※)
A重油: 39.1MJ/L(※)

(※) [エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則](10年改正)

富士箱根伊豆国立公園 奥河口湖 足和田ホテル

所在地: 山梨県南都留郡富士河口湖町長浜395
蓄熱設備設計: 三菱電機ビルテクノサービス(株)
蓄熱設備施工: 三菱電機ビルテクノサービス(株)
延床面積: 2,000㎡
竣工: 2008年、2011年(更新)

蓄熱設備概要

業務用エコキュート
(2008年) 56kW×1台(三菱電機) 貯湯槽: 10㎡
(2011年) 56kW×1台(三菱電機) 貯湯槽: 8㎡